闘いなくして安全なし

2024.06.04
Ｎｏ．４４８

〔発　行〕動労千葉を支援する会
千葉市中央区要町２－８ＤＣ会館
http://dourousien28.kane-tsugu.com/renrakuban/
info@doro-shien.site

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！　定年延長と 65 歳まで働ける職場を！

沿線住民から存続へ切実な声

5/26「久留里線と地域を守る会」第２回定期総会

５月26日、久留里線と地域を守る会は第２回定期総会を開催しました。沿線住民や地域の議員など90名が集まりました。総会の発言でも沿線住民の切実な声があがっています。

「存続へ力尽くそう」

ＪＲ千葉支社、君津市、千葉県による地域交通検討会議は、沿線住民にとって極めて重要な久留里線の問題を密室で議論しています。また、地区での説明会で存続に向けた意見が続いたことを取り上げるのではなく、「代替交通の検討が必要」と廃線を進めようとしています。

総会アピールではこうしたあり方を批判し「『地方消滅』に惑わされることなく、久留里線存続に力を尽くしていこう」と訴えられました。

【５月２６日　第２回久留里線と地域を守る会定期総会での発言より】

○亀山地区自治会代表

「地元で『久留里線を考える会』を開催してきたが『存続』の声が多くなってきた。とくに**『２４年問題』の関係で鉄道を残した方がいい**との声もある」

○久留里で学童保育を行っている女性

「**学童保育が終わって久留里線を使って帰る**子がいる。久留里線がなくなったら**地域の子供達の絆が壊れてしまう**」

【総会終了後に行われた東京都立大学の山下祐介教授の講演より】

○そもそも**何のための国鉄分割・民営化**だったのかが問題だ。

○過密（東京）対 過疎（地方）の構図は必ず生まれる。過疎で儲からないからといって鉄道を切り捨てるのでは問題は解決しない。次の過疎が生まれるだけだ。過疎（地方）が過密（東京）を支えているとの認識が必要だ。

○**問題は、経営側（ＪＲ）に「選択と集中」の意図**があり、該当する地域（久留里線沿線）の人達が**諦めて、自ら放棄する道を選ぶように仕向けている**。グレーゾーンはない。頑張りましょう。